



令和3年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年11月10日

上場会社名 株式会社 ジェクシード
コード番号 3719 URL <http://www.gexeed.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 新井 良
問合せ先責任者 (役職名) 事業戦略本部 本部長 (氏名) 山口 和秋
四半期報告書提出予定日 令和3年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5259-7010

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年12月期第3四半期の連結業績(令和3年1月1日～令和3年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第3四半期	398		37		35		37	
2年12月期第3四半期								

(注) 包括利益 3年12月期第3四半期 37百万円 (%) 2年12月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年12月期第3四半期	1.67	
2年12月期第3四半期		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。令和3年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和2年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年12月期第3四半期	1,139	950	83.4
2年12月期			

(参考) 自己資本 3年12月期第3四半期 950百万円 2年12月期 百万円

令和3年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和2年12月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年12月期		0.00		0.00	0.00
3年12月期		0.00			
3年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	525		109		110		124		5.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

令和3年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社XYEED 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年12月期3Q	23,100,732 株	2年12月期	21,800,732 株
期末自己株式数	3年12月期3Q	237 株	2年12月期	237 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年12月期3Q	22,205,257 株	2年12月期3Q	20,427,137 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当第3四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社XYEEDの重要性が増したため、同社及び同子会社のRevolution of Kitten Inc を連結の範囲に含めております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループ（当社及び当社の関連会社）は、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前年連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当社はこれまで、一連の経営再建の活動を実施してまいりました。本年度は、経営基盤の再構築を進めるとともに、当社の既存事業領域に隣接した事業領域への事業拡大及び新規事業領域の創出を進め、積極的に資本・業務提携やM&Aを進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、398,713千円、営業損失は37,859千円、経常損失は35,572千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は37,064千円となりました。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響で取引先への訪問が制限され営業機会が減少したことから、新規案件の受注が減少しました。また、営業費用の圧縮をしておりましたが、来期以降の事業展開を見据えて技術者の採用を積極的に開始した事から、営業費用が増加しました。

なお、子会社である株式会社XYEEDのビジネスインキュベーション事業の本格的な開始を見据え、令和3年12月期第3四半期より連結決算へ移行することといたしました。

新型コロナウイルス感染症の再拡大による政府の緊急事態宣言の再度の発令を受け、当社におきましては、従業員の安全確保を最優先に考え全社員へ在宅勤務を命じ、テレワークにより業務を遂行しておりますが、業務の遂行において支障は出ておりません。

各分野別の状況は次のとおりであります。

①既存事業領域（業務コンサルティング）

当社の主要な事業分野である「ERPコンサルティング」については、オラクル社のJD Edwards及びNetSuiteの既存顧客向けの運用支援の案件が順調に推移しており、クラウドサービスであるERPの新規案件の受注を獲得致しました。利用中のハードウェアの老朽化や保守期限の到来、運用コストの削減等の理由によりJD Edwardsをオンプレミスの環境からOracle Cloud(OCI)へ移行する企業が見込めるため、新規の案件獲得に繋げてまいります。

第2の事業の柱となる「人事コンサルティング」分野のタレントマネジメントについては、グローバル企業では人材の適材配置と、国内企業では育成管理の商談をすすめております。引き続き導入及び定着化支援の案件の獲得に努めてまいります。

また、スケジュール同期ソフト「GX_Sync」、コンテンツマネジメントクラウド「Box」等、テレワークによる需要が見込まれる商品につきまして、お客様のニーズに合せた提案を推進してまいります。

②新規事業領域（RPA、AI）

新規事業として取り組んでいる、RPA及びAIについては、サービス開発及び協業などの環境の改善を進めております。ソリューションを組み合わせた提案を推進してまいります。

③M&A

既存事業領域における事業の拡大、新規事業領域への進出に向けて、当社との間でシナジーが期待できる企業との資本・業務提携やM&Aの交渉を継続して進めております。

今後、M&Aや新規事業創出において具体的な進捗がみられ、業績予想に影響が生じると判断した場合には速やかに公表いたします。

④その他

安定的な経営を継続するために、以下の取り組みを積極的に進めております。

1. マーケティング活動による見込み客の開拓
2. 即戦力となるコンサルタントの採用、外部コンサルタントとの協業
3. コンサルタントの育成によるスキルアップ及び多能化による収益率の改善
4. 既存顧客向け付加価値サービスの開発
5. 既存サービスの拡張、既存パートナーとの関係強化
6. 新規取扱商材の開拓
7. 株主還元策の充実

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、1,139,559千円となりました。

流動資産は、897,163千円となりました。

固定資産は、242,354千円となりました。

負債合計は、189,118千円となりました。

流動負債は、133,696千円となりました。

固定負債は、55,421千円となりました。

純資産合計は、950,441千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年12月期の連結業績については、令和3年10月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	793,394
売掛金	87,635
商品及び製品	3,101
仕掛品	1,166
前払費用	6,031
その他	6,334
貸倒引当金	△500
流動資産合計	897,163
固定資産	
有形固定資産	5,733
無形固定資産	31,853
投資その他の資産	
投資有価証券	166,750
関係会社株式	22,490
その他	15,526
投資その他の資産合計	204,766
固定資産合計	242,354
繰延資産	
創立費	42
繰延資産合計	42
資産合計	1,139,559
負債の部	
流動負債	
買掛金	11,172
1年内返済予定の長期借入金	70,843
未払法人税等	3,884
未払消費税等	13,652
賞与引当金	7,579
その他	26,563
流動負債合計	133,696
固定負債	
長期借入金	30,525
繰延税金負債	857
退職給付に係る負債	24,039
固定負債合計	55,421
負債合計	189,118
純資産の部	
株主資本	
資本金	483,468
資本剰余金	583,436
利益剰余金	△118,450
自己株式	△29
株主資本合計	948,424
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1,942
その他の包括利益累計額合計	1,942
非支配株主持分	74
純資産合計	950,441
負債純資産合計	1,139,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)
売上高	398,713
売上原価	308,217
売上総利益	90,495
販売費及び一般管理費	128,355
営業損失(△)	△37,859
営業外収益	
受取利息	25
持分法による投資利益	2,490
その他	208
営業外収益合計	2,724
営業外費用	
支払利息	437
営業外費用合計	437
経常損失(△)	△35,572
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
子会社株式評価損	490
特別損失合計	490
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,063
法人税、住民税及び事業税	960
法人税等合計	960
四半期純損失(△)	△37,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	41
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,064

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)
四半期純損失 (△)	△37,023
四半期包括利益	△37,023
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,064
非支配株主に係る四半期包括利益	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ79,092千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が483,468千円、資本準備金が583,436千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。